

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/27			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントをとり、個々の力に応じた支援ができる。お子さん・家庭・園、のすべてに対して支援ができる。早期療育ができる	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている ABAの世界的な専門家を事業所に招き、1日研修や技術指導をおこなっている。	認定資格の積極的な所得と学会参加や研修を充実させていく。
2	有資格者のみで専門的な知識を持っているものとおして話をする事ができて支援ができています	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている・アセスメントに基づいた、個人に合わせた課題を設定して、スモールステップで教材を作成している	訪問と通所支援での様子を共有して、支援に反映していく
3	その子の特性に応じて、防音室があるなどレッスンできる環境が整っている。個々のアセスメント、教材が多種多様にある 個別に応じた学習を進めて行ける、検査をとって強みを活かした学習ができる。教材もここに合ったものがあるため学習が進みやすい	余計なものは置かないのと、必要な視覚支援は行っているその子にわかるような個別の教材が用意されている。それぞれに応じた教材を作る。強化子などもつねにアップデートされている。	今後とも子供たちの支援がよりよくなっていくように、環境含め技術等もアップデートをおこなっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一般化に向け、遊びの中でのNDBI sを行っていききたい	書籍の少なさ、研修する機会が少ない	NDBI sの事業所内研修などを増やしていきたい。
2	個々の支援に重点をおいているため、一般化が苦手	個別支援の事業所の為、集団支援や一般化は弱くなる	訪問支援や家庭連携にて情報共有等を積極的に行っている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もりもりの森				公表日	2026/3/3		
				利用児童数	34		回収数	24
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				活動スペースはあまり見る機会がないですが、いつも集中できる環境として整っていると写真等で拝見しています。十分すぎるスペースもあり、そして少人数のスペースはあると思います。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		2	丁寧に聞いていただいているのですが、就学後の事を考えると職員数が少な、レッスンを継続していただかないと思っています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4		1	階段は急だとは思っていますが、広いスペースでの遊びも確保出来ていると思っています。	急な階段で事故等を防ぐため今後とも最新の注意と配慮をおこなってまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24						
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				子供が成長したのが嬉しく思います。丁寧に子どもの様子を伝えていただいているの思います。その時の様子や家庭での悩みも共有し一緒に考えていただけているといつも感じています。困っている事がある時、すぐに適切なアドバイスをしてくださりとても助かっています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24				怒ったりせず、成功体験を大切にしてくださっていると感じています。		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1			親の思いや願い、子供の長所をくみとってくださっている。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					児童しるしや保護者の気持ちを大切に計画を立ててくださっていると思います。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			3	発達プログラムを小まめに報告してくださるので進んでいる事が分かりやすいです。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3		9			
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						有償でも勉強になっています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						子供の乳歯から歯をしてくれるのが勉強になります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	1	7		もりもりの会ですが、発達障害をもつ親同士の相談が出来る場所がない。前回の交流会では他の保護者の方の話を聞いて有意義でした。	

	19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	1		
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	19		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	13		
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19		5	丁寧な対応ありがとうございました。	
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	24				
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	23		1	引越して道方からの利用となっていますが、毎週土曜日にもりもりの森へ行く事を楽しみにしています。いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24			いつもありがとうございます。いつも丁寧に対応していただき感謝しております。もりもりの森を利用出来て本当に良かったです。残り僅かとなりましたが、最後までよろしくお願い致します。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	もりもりの森		公表日		2026/3/3	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		レッスン室の空きを見ながら利用者への案内を出している。聴覚過敏やレッスンでヘッドホン等を使う時は防音室へ入るなど配慮できている。個室対応ができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	建物の構造上、階段があるが、職員が必ず児童の後ろにつき、手をつなぐ配慮を行っている 大層時は階段で3階なので利用される方に制限があるかと思いますが、必要に応じてメディアパークと振り分けでき対応出来ていると思います。 階段があるため、バリアフリー化はされていないが、職員の手を繋ぐこと、手すりを持つことを徹底しており、安全面には配慮している 各部屋の機能が文字、写真で示されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		利用者全員月1回の支援会がなされている 支援会が定期的であり、できていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		家庭連携があるので、保護者のご意向を確認できている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		面談の時間を設けてくれている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	学会でも発表されており、素晴らしいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		慶應義塾大学名誉教授 山本先生の事業所内での1日研修も受けることができ、勉強になりました。 研修会や学会の参加に協力的。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		家庭連携時に詳細を伝えている 支援会を高頻度で行われており、お子さんにとって適切なレッスンが行われていると感じます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		年1回の標準化された検査(バッテリー)を用いたアセスメントとアセスメント結果をもとにした支援会の実施がなされている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		私個人がしっかりと把握できておりません。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援会もあり、困った時には相談できるメンターもいる。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		アセスメントの結果やプログラムの進捗状況の報告会がなされている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	その日に共有できないものは、対象のお子さんの次の来所日までに必ず共有している 私個人がしっかりと把握できておりません。 その日の終了後は記録記載で残ることが多いが、次の日や、次レッスン前には気づいた点等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		記録用紙に記載しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	園に通っており、地域で関わりがある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		定期的な家庭連絡やLINEを通して共有をしている LINE連絡や送迎の時にお話しをする中で共通理解が持てるようになってきている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3	これから運用予定	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	5	個人が把握できておりません。 見学期間の欄があれば受け入れている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者から対応を聞いて同じ対応ができるように備えていると思う 契約時にアレルギーの確認を書面で行っている。内服管理も書面申請があった場合に、使用条件などを明確に記載して管理している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森		
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025/2/18		～ 2025/3/1
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/3		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントをとり、個々の力に応じた支援ができる。お子さん・家庭・園、のすべてに対して支援ができる。早期療育ができる	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている ABAの世界的な専門家を事業所に招き、1日研修や技術指導をおこなっている。	認定資格の積極的な所得と学会参加や研修を充実させていく。
2	有資格者のみで専門的な知識を持っているものとおして話をすることができて支援ができています	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている・アセスメントに基づいた、個人に合わせた課題を設定して、スモールステップで教材を作成している	訪問と通所支援での様子を共有して、支援に反映していく
3	その子の特性に応じて、防音室があるなどレッスンできる環境が整っている。個々のアセスメント、教材が多種多様にある 個別に応じた学習を進めて行ける、検査をとって強みを活かした学習ができる。教材もここに合ったものがあるため学習が進みやすい	余計なものは置かないのと、必要な視覚支援は行っているその子にわかるような個別の教材が用意されている。それぞれに応じた教材を作る。強化子などもつねにアップデートされている。	今後とも子供たちの支援がよりよくなっていくように、環境含め技術等もアップデートをおこなっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	般化に向け、遊びの中でのNDBI sを行っていききたい	書籍の少なさ、研修する機会が少ない	NDBI sの事業所内研修などを増やしていきたい。
2	個々の支援に重点をおいているため、般化が苦手	個別支援の事業所の為、集団支援や般化は弱くなる	訪問支援や家庭連携にて情報共有等を積極的に行っている

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		もりもりの森		公表日		2026/3/3			
		利用児童数		19		回収数		17	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2			身体不自由の方にとっては、障物が多い為、利用する際に不便な面が出る場合もあると思う。 施設内をゆっくり見たことがないので、どちらとも答えません		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				子どもの状態に合わせて支援していただいています。 STを基本としているが、その特徴的な発達からのアプローチをして頂ける。 子どもの苦手なことに対しては、支援していただいています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16			1	保護者の希望も取り入れて、個別支援計画を作成していただいています。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			2			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		2			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	12		3	個別の支援のため、交流の必要は感じておりません。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1		1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16			1	送迎のさいにLINEなどで伝え合っています。 LINE等で伝えていただいています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			1			
保護者 への 説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1	1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2		11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2		2	楽しく通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				いつも、子どもに合わせた支援もありありがとうございます。これからも、よろしくお願ひいたします。満足しております。これからも、よろしくお願ひいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	もりもりの森		公表日		2026/3/3	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		利用者の特性に合わせてスペースを活用していることや体格に合わせて部屋や机と椅子を変更している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	机、椅子の高さをその子どもの様子に応じて対応できている。階段があるが、必ず職員が後ろにつき安全に配慮している 部屋ごとの機能が写真と文字で提示されている 手を触れだり、後ろについて上がったりと配慮はしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		レッスン室内やその他の空間も清潔で心地よい環境の中で、レッスンできている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		防音室や、他の音が気にならない場所でレッスンしたり個別の様子に応じて環境設定できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		年間の目標を決めて、全職員で共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		レッスンを時々見てくれた時に、指導してもらえる事と分からない事を相談しやすい。 定期的な面談の機会がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		業務の合間に研修に参加できる環境がある。 事業所内での研修を、はじめ外部研修にも積極的に参加させていたでいる。 各種研修は業内を共有してもらえるので知識を深めたり興味がある研修を自身で選択できる	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		利用者全員の支援会が月1回以上開かれている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		放デイのお子さんの課題について自身の学びを必要。 プログラムの進捗状況の報告と次の課題や目標の見直しを立てる事が出来ている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	朝のミーティングできている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	その日に共有できないこともあるが、次回の来所日まで必ず共有している 週宣している。 終了後は熟慮になってしまうことがあったり、担当職員が他児のレッスンに入っていたりするため必ずではないが、気になったことがあったりする際は情報を担当と共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	送迎を行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	協議会への参加は自身はなし 私個人がしっかり把握できておりません	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		ラインでの課題報告の中で、出来たことに加えて新しい課題などの説明を丁寧に伝える事を心掛けている。保護者に安心してもらえるような伝え方の工夫。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	4		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森			
○保護者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月26日		～	2026年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	55	(回答施設数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/3			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>1. 言語に特化した支援が行えてる。</p> <p>2. 各種標準化されている検査を用いて定期的に利用児童のアセスメントをおこない、個別の支援が行えている。</p> <p>3. 各種検査をおこない、利用児童の強み弱みを客観的数値から導いている。</p> <p>4. 利用児童だけでなく、保護者支援と訪問支援も並行しておこなっている。</p> <p>5. 1歳半からの検査結果に基づき、超早期療育の実施が可能。</p> <p>6. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、公認心理師、保育士など全職員国家資格を保有している。</p> <p>7. 職員一人一人の質が高い。</p>	<p>1. 子供たちが日々楽しく課題に取り組めるように、支援方法や教材を利用児童の様子や学習結果などを工夫して取り組んでいる。</p> <p>2. 実施者によってやり方が変わらないように、背景や検査結果、支援目的、支援方法を共有している。</p> <p>3. 子供の学習時に常に楽しめる境涯と後続刺激を調整している。</p> <p>4. 利用児童の力に合わせた、支援プログラムをオーダーメイドで立案している。</p> <p>5. 全利用児、毎月支援会を開催し、進捗状況の確認と課題の修正を細かくおこなっている。</p> <p>6. 常にPDCAサイクルを回し、内容等の固定化が起きないようにしている。</p>	<p>○もう少し研修の頻度をあげる。職員のスキルに応じた研修</p> <p>○訪問での様子を共有して、事業所での支援に反映していく</p> <p>○訪問先の先生方とお子様のお時間を最優先に、限られた時間の中で訪問支援のできることを検討し、協議を重ねていきたい。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>1. 一日を通じて利用児童が来られているので、全職員で集まった時間が1時間単位等の隙間時間になるも、その時間内で建設的な協議が行えるように工夫をおこなっていく。</p> <p>2. 送迎サービスを行っていないが、その分の時間はカンファレンスや個別教材作成、保護者への相談支援、支援技術向上に努めている。</p> <p>3. 時間帯によっては、児童数がすくなく他児と一緒に過ごす機会がない場合もある。</p> <p>4. 集団ではあく個別支援となっているので、集団の中での反化が難しいことがある。</p>	<p>1. 全利用児童への個別支援と統一した技術提供をこなしていくためにも、送迎サービスの実施はおこなっていない。それに伴い、同じ時間帯に在籍する児童数がすくあいこともあり、集団場面での反化が課題となってくる。</p>	<p>1. 時間を工夫して短い時間で協議と討議、決議をおこないい、より児童へ質の高い支援が行えるように努めていく。</p>

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	もりもりの森		公表日		2026/3/3		
			利用児童数		55		
					回収数 13		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	9			4		視覚支援等の教材を持っていくこともある。持って行った時は報告の際に伝える
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11	1		1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12	1				
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11			2		ペアトレの実施は検討していない。家庭などでの関わり方については家族相談支援などでお伝えしている。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10		3		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12		1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	13				もう少し、利用可能枠が増えるといいなと思います。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2026/3/3	
もりもりの森		利用児童数	55人	回収数	25施設
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	27	1		<p>小学校から継続して支援に当たられていて、これまでの支援の経験や情報提供をいただながら中学校での発達に活用する事ができた。</p> <p>無理なく取り入れることが出来た。</p> <p>月に2回継続して下さっているが、時間が無い時もあるため、速くでの取り入れをお願いしたい。</p> <p>検査結果などのエビデンスに基づいた具体的な助言をいただき、大変参考になっています。園と事業所の様子も伝え合うことで必要な支援を見つめることができました。</p> <p>児童も理解してくれている。</p> <p>いつも笑顔に促した支援方法を教えていただき、日々の指導に活かすことができました。</p> <p>いつも丁寧に読んでいただき、アドバイスをお願いすることがとても助かっております。</p> <p>知識豊富な色々なことを説明して下さるのですが、もう少し具体的に説明してもらえるととてもありがたいです。</p> <p>丁寧に話して下さいます。</p>	<p>ご支援の円滑な方法、時間や頻度につきまして、ご訪問先の先生方と協議をさせていただきながらご無理のない範囲で行えるように改めてお相談をさせていただければと思います。</p>
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	26	2		<p>療育入居の特別措置に関する情報提供や、支援に関する助言を多くいただくことができた。園からお願いしていたことが分かって良かったです。</p> <p>指導をいただき、ありがたいが時間がなく大変である。担当先生もなかなか職員にとって負担となっている。</p> <p>建設費づくりにくい客観的な視点で的確なアドバイスをお願いしており、気付かされることが多いです。</p> <p>適切な助言・アドバイスをしてくれている。</p> <p>その都度アドバイスをいただけて助かります。</p> <p>知識豊富なと思います。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	27	1		<p>担任として検討したいこと（学習支援や合理的配慮の内容等）を適切に助言していただいた。具体的なアドバイスもいただきました。</p> <p>質問する時間もなく勤務しているためわかりません。</p> <p>いつも、授業の様子をモニタリングしていただいた後、時間をとって下さり情報を共有することになっています。</p> <p>適切に対応してくれています。</p> <p>事業所での必要な助言をいただき、園でもアドバイスいただけて助かっております。</p> <p>いつも一緒に考え、持っている情報を共有して下さいます。</p>	<p>ご支援の円滑な方法、時間や頻度につきまして、ご訪問先の先生方と協議をさせていただきながらご無理のない範囲で行えるように改めてお相談をさせていただければと思います。</p>
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	23	5		<p>適切な助言をいただき、支援の方針を検討するうえで大変有用であった。</p> <p>園生が落ち着いてきたように思います。</p> <p>特になし</p> <p>学校の学習や指導ではカバーできない所を事業所でトレーニングしてもらい力がついていると感じています。ありがとうございます。</p> <p>参考にしています。</p> <p>情報を共有し、次に繋げることができています。</p> <p>アドバイスを頂き取り組む内容は取り組んでいます。感謝しています。</p>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	25	3		<p>家庭、学校、福祉が連携して支援していくうえで専門的な助言をいただくことができた。いろいろ助言をいただき感謝になりました。</p> <p>特になし</p> <p>園児も共に共有して考えたいという姿勢にいつも感謝しています。兄弟もよろしくお願ひします。</p> <p>保護者の方も支援の方向性がはっきり見えて満足しているようでもよかったです。</p> <p>保護者と本人の距離感が近づけられ、連絡や支援の内容が行き届くようになる家庭もあるのでは、家庭支援もしていただけたら、幸いです。</p> <p>協力してやっていくことが大切だと考えている。</p> <p>毎月、その子にあったアドバイスをお願いしております。</p> <p>しています。毎回の連絡有難うございます。もりもりの取り組み内容を写真や文書範囲内で知らせてもらえるとありがたいなと思います。</p> <p>楽しく進んでいるようですし、力になっていると思います。</p>	
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<p>これからもよろしくお願ひします。</p> <p>いつも保育に取り入れやすいような支援方法や発達段階に応じた具体的な助言をして下さりありがとうございます。今後どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>いつも親身かつ丁寧に助言いただき、心より感謝申し上げます。具体的に実践的な支援方法を教えていただけたおかげで、自分自身の関わり方を客観的に振り返り、改善につなげることができています。今後とも、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>いつも職員室にも寄って丁寧に説明してくださっています。また、担任にも直接アドバイスなどをくださっています。引き続き、よろしくお願ひいたします。</p> <p>しっかり情報共有をし、適切なアドバイスをいただけたのでありがたいです。いつもありがとうございます。</p> <p>特になし</p> <p>一つ一つ丁寧にその子の状態を汲み取りながら教えて下さったり、次に繋げて行く為にその子にあった支援方法をその都度提案してくれました。また、実際にもりもりさんの方へ訪問させていただくことで、その子がどのようなことをしているのか知ることができ、より具体的な支援に繋がっていると思っています。園からの訪問も半年または年に1回程度あった方が、連携して支援できるのではないかと思いました。</p> <p>いつもありがとうございます。指導をいただくことはありがたいが、学校と支援所では環境も違うため児童の様子も違うのでなかなか難しい。</p> <p>いつも訪問時には、情報共有をさせてもらって助かってます。学校で困っていることなどを相談すると、事業所で取り組んでいることなどアイデアを教えてください。授業に取り入れることができている。引き続きまたよろしくお願ひいたします。</p> <p>毎月、丁寧にアドバイスをいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>2年間ありがとうございました。クラス担任</p>	<p>ご支援の円滑な方法、時間や頻度につきまして、ご訪問先の先生方と協議をさせていただきながらご無理のない範囲で行えるように改めてお相談をさせていただければと思います。</p>				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もりもりの森		公表日		2025/3/12	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		本事業所での定期的な研修の開催に加えて各種研修の案内がもたらえる。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		週一回の訪問会で共有できる機会がある		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		週一回の訪問会で共有できる機会がある		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	その日に共有できないこともあるが、次の訪問日まで共有している場所担当者で情報共有を行っている		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5					

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			各種研修の案内をいただける。質の向上と興味のある研修を選択することができる
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			訪問後の報告と保護者のニーズに合わせて面談を実施している。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			活動内容やその日の先生方の都合により、その場またはその日にできないことがあるが、後日電話などでカンファレンスを行っている
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		訪問前に訪問先の理念などを理解して開始するようになっている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		